日刊工業新聞

年月日	12	02	02	ページ	09	NO.	

財務・医療関連の電子文書
規定適合を一括検証

ハイパーギア

【さいたま】ハイパーギア（さいたま市大宮区、本田克己社長、048・654・2141）は、財務や医療関連書類を電子文書にして利用する場合、e文書法に対応しているか一括検証できるシステムを2月2日に発売する。電子署名の有無や電子署名の有効性などを大量の電子文書であっても簡単に確認できる。想定価格は300万円。企業や病院を中心に初年度20社への導入を目指す。

同システムは領収書やカルテなどの電子文書がe文書法に適合しているかを一括で調べる。電子署名、タイムスタンプの有無、画像の解像度のほか、電子署名の失効情報をタイムスタンプ付きで毎日自動保管しているため電子署名の有効性まで一括で確認できる。書類を電子文書にする際に電子署名、タイムスタンプを自動付与する機能もついている。

財務や医療関連書類を電子文書として管理する場合、e文書法が定める一定の要件を満たさなければならず、自社で検証システムを開発する必要があり手間やコストがかかった。同社はこれまで大手企業向けに個別にシステムを提供してきたが、東日本大震災の発生以降、事業継続計画（BCP）対策の一つとして文書を電子化し管理したいという企業から引き合いが増えているため、標準品を用意した。

無断転載・複写禁止©㈱日刊工業新聞社